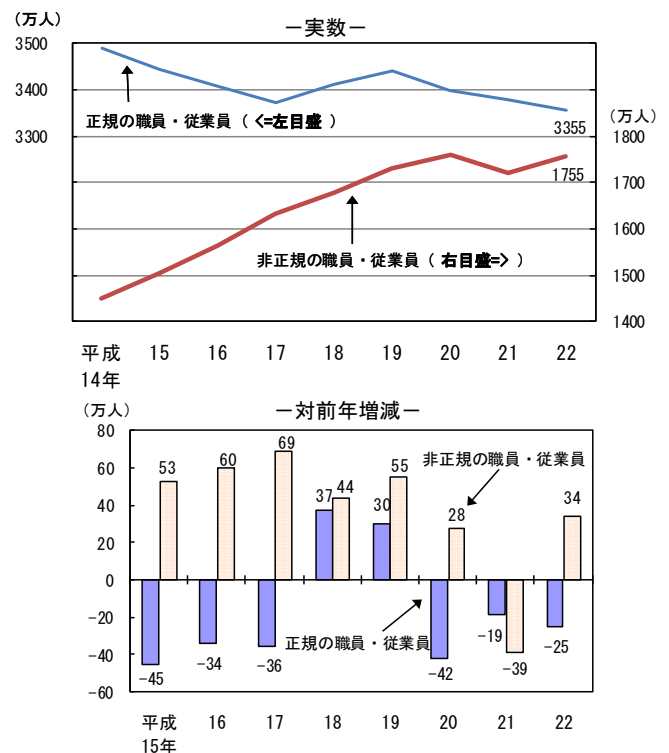


労働力調査（詳細集計） 平成22年平均（速報）結果の要約

- 1 平成22年平均の雇用者（役員を除く）（5111万人）のうち、正規の職員・従業員は3355万人と、1年前に比べ25万人減少。非正規の職員・従業員は1755万人と、34万人増加

（→「本文」1ページ）

図1 正規、非正規の職員・従業員の推移



雇用形態別	雇用者数	対前年増減数
正規の職員・従業員	3355万人	25万人減少
非正規の職員・従業員	1755万人	34万人増加
パート・アルバイト	1192万人	39万人増加 (うち女性は30万人増加)
契約社員・嘱託	330万人	9万人増加
労働者派遣事業所の派遣社員	96万人	12万人減少

（→「本文」1～4ページ）

- 雇用者（役員を除く）（5111万人）に占める非正規の職員・従業員（1755万人）の割合（34.3%）は比較可能な平成14年以降で最高

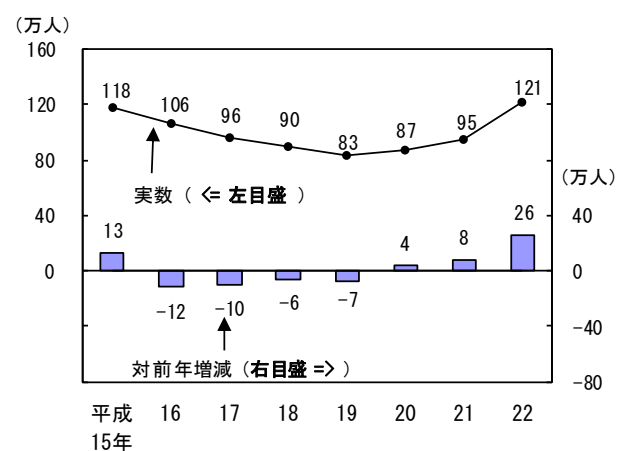
（→「本文」2ページ）

- 2 平成22年平均の完全失業者（334万人）のうち、失業期間が1年以上の完全失業者は121万人と、1年前に比べ26万人増加

（→「本文」10ページ）

- 失業期間が1年以上の完全失業者（121万人）は比較可能な平成14年以降で最多

図2 失業期間が1年以上の完全失業者の推移



- 3 平成22年平均の非労働力人口のうち「今の景気や季節では仕事がありそうにない」ため求職活動をしていなかった就業希望者は24万人と、1年前に比べ2万人減少

（→「本文」28ページ）

※地方公共団体の職員による不正事務の発生（詳細は、平成23年5月25日報道発表資料

（URL: <http://www.stat.go.jp/data/roudou/pdf/110525.pdf>）に伴う再集計結果である。（平成23年8月9日掲載）